



MIDORI

みちしるべ

緑区民生委員児童委員協議会

第 67 号

— 発行 —

緑区民生委員児童委員協議会

機関誌編集委員会

発行責任者 会長 松浦 正義

横浜市緑区寺山町 118 番地

930-2328

わたしの地区の民生委員

地域で活動されている民生委員さんに、委員になったきっかけや日頃の活動についてお聞きしました。

東本郷地区 大嶺 香さん

鴨居地区 西川 克美さん

Q 民生委員になったきっかけは？

A それまでは地域への関わりは少なかったのですが、前民生委員や自治会役員の方から打診されました。委員を引き受けることに漠然とした不安もあったのですが、いろいろ考えた末、引き受け今日に至っています。

Q これまでに受けた相談は？その際どのように対応しましたか？

A 相談に対しては、あくまで地域ケアプラザや区役所への「つなぎ役」として接することを心がけています。

Q 民生委員活動を行う上で心掛けていることは？

A 相談者に対しては常に明るく笑顔で丁寧に接することや誰に対しても平等、迅速に対応すること、また、なるべく電話ではなく、直接対面でお話を伺うことが大切だと考えています。自立できる支援になるよう心がけています。

Q 民生委員をやっていて良かったと思ったことは？

A 地域活動を熱心に取り組まれている方々と知り合いになり、共に活動できたことがよかったです。微力ながら社会貢献にかかわっていることに喜びを感じています。また、社会の仕組み等について少し理解が深まった気がします。

Q プライベートと民生委員の活動を両立するポイントは？

A 家族の理解と活動時間の工夫です。

Q 民生委員の活動に対するご家族や周囲の方の反応は？

A 概ね協力的です。

Q 地域の方からいただいた言葉で嬉しかったことは？

A 関わりを持った方や相談を受けた方から「ありがとう」と言われたことがやはり一番嬉しかったですね。

Q 地域の方（相談者、子ども達等）と接する際に心掛けていることは？

A まず、相手の話を聞く（聴く）ことに心掛けています。問い詰めることや否定することなどせず、また他人との比較をしないなども大切にしています。

Q 民生委員になったきっかけは？

A 近隣の小中学校で PTA をしていた関係で自治会と交流があり、お世話になっていたので断れませんでした。

Q これまでに受けた相談は？その際どのように対応しましたか？

A 相談内容によって地域ケアプラザや区役所へつないでいきます。話し相手がほしいなど、コミュニケーション不足からくる不安解消には何度か傾聴に伺っています。

Q 民生委員活動を行う上で心掛けていることは？

A 警戒心を持たれないように、笑顔で丁寧に話をするようにしています。また、守秘義務があることをお伝えすると安心されることが多いです。

Q 民生委員をやっていて良かったと思ったことは？

A 意図的ではない出会いがあります。多様な考えの方々と接することは自分の成長につながると思います。なにより、鴨居地区民生委員のメンバーがとても良く、みんなと相談し、活動することが楽しいです。

Q 民生委員になることへの不安はありましたか？

A いちボランティアが初見で「相談にのりますよ」と言っても怪しまれるだけではないかと思っていました。しかし、先輩からの丁寧な引継ぎ（顔合わせ等）がこうしていけば良いという手本になり、活動していくうえで安心感につながりました。

Q プライベートと民生委員の活動を両立するポイントは？

A できるだけ家族優先にしています。

Q 地域の方（相談者、子ども達等）と接する際に心掛けていることは？

A 時には娘のように、お母さんのようにおばあちゃんのように相手に親しみを持ってもらえるように接するよう心がけています。



緑区民生委員はこれからも、「地域の身近な相談相手」として活動していきます。引き続き地域の皆様の御理解と御協力をどうぞよろしくお願いいたします。

白山地区『傾聴講座』に参加して

6月17日（土）に鴨居地域ケアプラザで実施された、傾聴ボランティアの講座に参加しました。

人から話を“きく”ことには、3種類の“きく”があります。

- ①聞く⇒情報を聞く・拾う
- ②訊く⇒問い糾す
- ③聴く⇒人の話を耳・目・心できく

傾聴は相手の話を肯定も否定も助言もせず、耳を傾け目を逸らさず心で聴くこと、そして今のような気持ちで話しているのかを感じ、寄り添って聴くことを指します。傾聴で相手の話を肯定することは、その人が「良いことをやった！」や「頑張っている！」と評価するということです。一方否定しないことは、評価するのではなく、相手をそのまま受け入れるということです。つまり「傾聴」の最大のメリットは、受け入れることによって、相手が安心して

発言できる状態になり、信頼関係が築けるという点にあります。

講座を受講して『否定しない=言いなり』ではなく、どうしても言葉を発しなければいけない時は、正論を言い切るのではなく、相手を傷つけないように言葉を選び、あくまでも「話に心を傾けることを忘れない」のが必要なのだと、この講座を受講し認識を新たに深めることができました。

白山地区 小坂 隆子



緑区民まつりの開催

ミドリンと「ミドリンたいそう」に参加して

10月15日（日）、緑区民まつりにて緑区主任児童委員は「ミドリンたいそう」を公会堂で披露しました。区役所の職員チームと合同で披露することから、強化練習もしました。昨年、演じた主任児童委員のアドバイスを聞きながら、新任の私たちは、自宅でYouTubeの動画で練習を重ね当日を迎えました。

本番はミドリンがついた緑のバンダナをお揃いで身に着け、一体感のある体操を演じることが出来ました。緊張の中での舞台でしたが、座席の前で一緒に体操をしてくれるかわいいお友達がいたことで、より楽しく披露することが出来たのが良い思い出となりました。「ミドリンたいそう」をご存じないかたは、ぜひ一度動画をみてください。体を大きく動かす所、つい笑顔になるリズム、歌詞ものびのびと歌えるようになっています。

「ミドリンたいそう」と同じように、みなさまに

笑顔と元気をとどけられる主任児童員になりたいと胸に秘めながら、楽しく活動していきたいと思えます。

山下地区主任児童委員 吉川 美奈・油井 文



山下地域ケアプラザの紹介

当ケアプラザは山下地区の端に位置しており、青葉区、都筑区に隣接しています。

『地域のつながりや支え合いのある 誰もが元気に暮らし続けられる街をめざして』をスローガンに、山下地区にお住まいの皆様が、安心して暮らせるように連自治会、地区社会福祉協議会、保健活動推進委員会、民生委員児童委員協議会、諸団体などと連携しながら活動しております。

山下地域ケアプラザでは、高齢者の介護、介護予防などについての総合相談窓口として「地域包括支援センター」、趣味や交流の場を提供する「地域活動交流」、高齢者のサロンやボランティアの支援をする「生活支援」、要介護（要支援）の認定を受けた方のケアプランの作成や相談などを行う「居宅介護支援」の 4 本柱で運営しています。

ケアプラザ内での活動は、文学から体操まで幅広く行っております。各事業の開催日や時間は、ホームページに記載されております。



【お問合せ】 山下地域ケアプラザ



Tel 045-931-6275

← ホームページはこちら

主任児童委員活動報告

竹山地区民生委員児童委員協議会は令和 4 年度から、小学校、連自治会、社会福祉協議会、神奈川大学サッカー部などと協力して「竹山宿題応援団」をスタートさせました。

竹山地区ではサッカー部の学生が寮生活を送っており、地域住民との交流が盛んになっています。

そうしたご縁もあって、小学校の空き教室で、3 年生のお子さんを対象に、大学生が中心となった放課後の学習支援を開いています。主任児童委員も、大学生の皆さんに混じってお手伝いをしています。

夏休みには、商店街の一画にあるサッカー部の食堂を開放していただき、夏休みの宿題応援も行いました。

勉強だけでなく、休憩時間には、お兄さんと

色々な話をしたり、遊んでもらったりと、子どもたちにとっても、すてきな居場所となりました。

竹山地区では子どもがとても少なくなっていますが、主任児童委員としてもより身近に寄り添えるよう、活動していきたいと思っています。

竹山地区主任児童委員 荒金 直・小林 秋津





おめでとうございます!



長きにわたる活動の功績により、多くの民生委員・児童委員が表彰されました。

(敬称略)

○全国民生委員児童委員連合会会長表彰(令和5年11月21日)

〈永年勤続民生委員・児童委員〉

西井 保江(鴨居) 松本 和子(長津田)

○横浜市社会福祉協議会会長表彰(令和5年11月14日)

岡島 峯子(霧が丘)

○横浜市社会福祉功労者市長表彰(令和5年11月14日)

〈永年勤続・活動功労 30年〉

岡島 峯子(霧が丘)

〈永年勤続・活動功労 25年〉

古内 敏子(新治中部) 成瀬 健二(霧が丘)

〈永年勤続・活動功労 10年〉

内田百合子(東本郷)

西川 克美(鴨居)

秋永 佳衣(白山)

遠藤 春美(新治中部)

佐藤貴美江(新治西部)

古屋紀美代(十日市場地)

平塚るみ子(霧が丘)

男澤 和明(霧が丘)

杉本 織恵(霧が丘)

鶴丸 薫(長津田)

小林 敬子(長津田)

今村 雅子(長津田)

小林由美子(長津田)

地区だより 新治西部地区

新治西部地区は、松浦正義会長を中心に民生委員 11 名、主任児童委員 2 名で活動しています。十日市場町、新治町、長津田みなみ台 6・7 丁目の一部と担当エリアは広いですが、それぞれの自治会や地域ケアプラザと連携し、地域の方々とのつながりを深める活動を楽しんでいます。

9月24日(日)には、コロナ禍で4年間中止となっていた新治西部わくわく運動会が開催されました。子どもから高齢の方まで参加可能な競技に私たち民生委員、主任児童委員も参加し大盛況でした。最後には、松浦会長の仮装に、十日市場小学校の校庭が大爆笑となりました。

和気あいあいの新治西部地区の定例会は、情報交換を通して、いろいろな事を知り、学ぶ機会となっています。新しい仲間も加わり、地域の方々と共に「笑顔あふれ 集い楽しむ 新治西部」を目指して



います。

今年は、4年ぶりに高齢者・障害者合同昼食会も少し形を変えて行いました。



新治西部地区
石川 眞由美



編集後記

今年の芥川賞を受賞されたのは、「ハンチバック」の作者、市川沙央いちかわ さあゆさんです。彼女は重度の障害者で、何かを読むというだけで背骨が曲がり、肺を圧迫される等々、

多くの困難にあいながら日々生活されているそうです。たぐいまれな才能と努力によって、もたらされたこの賞は、尚更価値あるものです。

少しでもこれらを見習って生きていきたいものです。
山下地区 渡邊 節子